

## 第38期事業計画

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

米国の大統領選挙、英国のEU離脱問題が一段落したものの、未だ収束の見通せない新型コロナウイルスの影響などから経済状況は不安定さをぬぐい切れていない。

一方で、新型コロナウイルスに対するワクチン接種が進むなど若干明るい兆しも見えつつあり、米国などの先進国の景気拡大局面は底堅く、わが国の経済も、企業業績も上向きつつあるなど、今後、新型コロナウイルスの収束とともに景気回復にさらなる弾みがつけられるか問われる1年となろう。

新常态の浸透とともにデジタル化が推進され、個人投資家の市場への一層の参入も期待され、長期的な視点に立った持続性のある投資への仕組みが求められている。その際、長期にわたり安定的に資産運用が可能な仕組みの構築がポイントになり、わが国の資本市場環境も一層の多様化が待ち望まれている。

資産形成についてはインターネットを通じた投資や積み立て型の投資、さらにファンドラップの多様化等様々な人が選択・参加できるようになるなど投資環境が充実しつつある。これらの投資活動が資本市場への流れとなり、証券取引を通じ安定的な資産形成を指向する投資家、特に若年投資家層の厚みが一層増していくことが期待される。

このような環境を踏まえ、わが国資本市場の更なる持続的成長の実現を目指し、市場関係者は投資家にとって魅力のある資本市場の構築を通じて、社会的使命を果たさなければならない。

こうした認識のもと、第38期（令和3年度）の当財団の重点を以下の3点におき、これらのもと事業活動を展開していくこととする。

1. 公正な資本市場の発展と市場全般の活性化、安定化に向けた  
施策提言
2. 投資家にとって魅力のある資本市場構築のための施策提言
3. 資本市場全般に関する社会啓発活動の充実

## 1 . 調 査 ・ 研 究

資本市場に関する内外の具体的課題について、法令・制度面の問題を含めて調査・研究する。

## 2 . 講 演 会 等

### (1) 時事懇談会 (会員対象)

内外の諸情勢に関するテーマについて、各界の有識者をゲストスピーカーとして招き、懇談会を四半期毎に開催する。

### (2) 講演会 (公開)

内外資本市場に関するタイムリーなテーマについて、研究者・専門家による講演会を定期的で開催する。

### (3) セミナー (公開)

金融商品取引法等、資本市場に関する法令・制度の制定・改正、問題点等について、広く理解される必要があると思われる事項を選定し、専門家・実務者によるセミナーを適宜開催する。

## 3 . 出 版 等

### (1) 定期刊行物

金融・資本市場に関する情報や評論、資料を中心とした定期刊行物『月刊資本市場』を発行する。

### (2) 書 籍

金融・資本市場関係者のニーズに即した書籍を出版する。

### (3) ウェブ (インターネット) による公開

上記定期刊行物については、当財団のホームページ上で広く一般に公開する。

以 上